

(別紙) 作成日 令和6年2月20日

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072700632		
法人名	特定非営利活動法人慈千会		
事業所名	グループホーム波田の家		
所在地	長野県松本市波田下原9465-1		
自己評価作成日	令和6年1月16日	評価結果市町村受理日	令和6年3月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様1人1人の個性を尊重して、個々の好きなことや楽しそうにしていることを把握し、個別でお散歩に出かけたりお裁縫をしてもらったり、利用者様が生き生きと暮らしていけるように工夫している。
また、季節のイベントを計画して、普段とは違うゲームをしたり行事食を楽しんでもらっている。施設の畑では通年、新鮮な野菜を食べられるよう作付けしているため、利用者様と共に収穫している。食事は野菜をたくさん使っておやつも手作りを心がけている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kazokensaku.shik.go.jp/20/index.php?action_kouhou_detail_022_kanistrue&kiyosavocid=2072700632-00&Serviceid=320&Ipcsearch
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

松本市波田地区産の、「下原スイカ」の畑が周囲に一面に広がるゆったりとした環境の中に当ホームがある。開設から20年を迎え「家庭的環境と地域住民との交流の下で…」という理念を支援の柱として、アットホームな雰囲気大切に、利用者や職員が一つの家族として温かみのある生活が送れるように利用者の気持ちに寄り添い、日々の支援に取り組んでいる。コロナ禍が長引き制約を受けながらの支援活動が続いてきたが利用者にもストレスがたまることのないように感染対策を取りながら楽しく充実した日々を送れるようにしている。毎日の日課として天気の良い日には外に出て、周りのスイカ畑の中を15分～30分位散歩し、10時と15時のおやつ前にはラジオ体操とユーチューブを見ながらの歌体操で体を動かし、広い廊下でマレットゴルフ等も楽しみ、体力維持に繋げ、「ことわざクイズ」「漢字クイズ」「かるた取り」等も日課として行い、充実した日々を送っている。そうした中、コロナ蔓延中は自粛していた家族との面会についても新型コロナの5類への移行を受け、現在、玄関で人数制限なしに15分位の対面面会を行っており、多くの家族が月1回ほど来訪し利用者とのひと時を過ごしている。また、運営推進会議についても書面での開催が続いていたが、昨年7月より対面での会議が再開され、会議メンバーと顔を合わせながら意見交換をする機会が持たれサービスの向上に繋げている。更に、春の花見から秋の紅葉見物まで、松本周辺の名所をドライブを兼ねて訪ね、途中、道の駅等にも立ち寄り食事楽しみ、季節を感じている。加えて、コロナ前に行っていた南信にあるホテルへの1泊外出レクリエーションについても今年は再開する予定を立てている。広い食堂で寛いでいる利用者の柔らかな笑顔を見させていただき、職員との一体感が窺え温かさが感じられた。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング株式会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和6年1月25日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名(本宅)			
項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名(新宅)			
項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		